

【第7回日本アスレティックトレーニング学会学術大会 プログラム内容】

- ◇ 大会長基調講演：「アスレティックトレーニング学のアートを探る」
講師 杉山 ちなみ（株式会社リボンプロジェクト）
- ◇ 特別講演 : 「アスレティックトレーニング学の多様性」
講師 蝶間林 利男（横浜国立大学名誉教授）
- ◇ 教育講演 1 : 「スポーツ現場における心臓突然死ゼロを目指して」
講師：真鍋 知宏（慶應義塾大学スポーツ医学研究センター）
- ◇ 教育講演 2 : 「新領域 レースメディスン –アスレティックトレーナーの役割–」
講師： 細川 由梨（立命館大学スポーツ健康科学部）
- ◇ シンポジウム 1 : 「スポーツ現場におけるアスレティックトレーニング学の現状」
 - ①セパタクロー 日本代表チーム強化副委員長 飯田 義隆
 - ②ロッククライミング 目白整形外科内科 富澤 隆一郎
 - ③ライフセービング 日本ライフセービング協会理事長 入谷 拓哉
 - ④新体操 東京女子体育大学准教授 小野田 桂子司会： 坂本 雅昭（群馬大学）
- ◇ シンポジウム 2（公開講座） 「スポーツ選手を取巻く環境～親こそ最良のサポーター～」
 - ①教育者の立場から 桐蔭横浜大学 学長 佐藤 宣践
 - ②トレーナーの立場から ワイズ・スポーツ&エンターテイメント代表 山本 晃永
 - ③コーチ&親の立場から スマイル体操クラブ 代表コーチ 内山 玲子
 - ④薬剤師の立場から JISS スポーツメディカルセンター 上東 悦子
 - ⑤スポーツ栄養士の立場から 桐蔭横浜大学 教授 殖田 友子司会： 田中暢子（桐蔭横浜大学） 杉山ちなみ（リボンプロジェクト）
- ◇ 招待講演（公開講座）：（調整中）
- ◇ 特別セミナー①②：「現場での”なぜ？”をプチ研究にしてみよう」
本セミナーは今回が初の試みとなります。学生の抱く些細な疑問が研究になるということ
をAT教員がどのように教育現場で伝え、どのような研究指導がなされているか？
各校（8校）の担当教員と研究初級者である学生による発表の場です。
- ◇ 一般演題発表（口述・ポスター）
- ◇ ランチョンセミナー ・機器展示プレゼンテーション